

事業概要	1961年の創業以来、放電加工を中心とした加工技術から表面処理まで含めた部品製造・金型製造・プレス機を中心とした機械装置など、ものづくり企業として「航空・宇宙」「交通・輸送」「環境・エネルギー」「住宅」「機械設備」にいたる幅広い産業に創造的な発想と技術で人と社会の為に必要なカタチを提供しています。
部署	経営管理係 SDGs推進担当
所在地	〒222-8580 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11F
連絡先	(電話番号)045-277-0330 (E-mail)hsk_info@hsk.co.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から脱却し、リユース・リサイクル・リデュースを進めるとともに、サーキュラーエコノミーへの移行も求められています。どうしても生産の都合上でてしまう工程廃材となっているプラスチック等と建築廃材や、間伐材、フードロスから発生するバイオマス素材を混合溶融させる技術でサーキュラーエコノミーの促進を行うことで、資源問題の解消を図り、資源循環型社会の実現と持続可能なまちづくりにむけた取り組みを加速して参ります。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野 農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー

プラスチックに起因する海洋ごみ問題の解消と石油由来のプラ削減での脱炭素社会の実現にむけて活動し、プラスチック等と木や竹などのバイオマス素材を混合溶融させる技術を促進しております。この技術を活用することで、地域で有効活用されてない資源を資源化し、地域経済の活性化と地産地消の社会基盤の実現を図ることで、資源循環型社会の構築と持続可能な社会の実現を目指し取り組んでいます。

1. 混合溶融材料の開発 



添加剤を含まない混合溶融されたバイオコンポジットの開発や、従来、リサイクルできなかった廃棄物を再活用でサーキュラーエコノミーを支援

3. 川にも流さず海も渡らせないために 



資源循環型社会への取り組み

URL <https://www.hsk.co.jp/>

上記ソリューションを提供できる地域について

全国

2. 資源素材でサーキュラー・エコノミーに 



資源循環ができる素材・製品を提供

## 自者の特徴

創業より多岐にわたる業界に製品を届けることで社会の発展に貢献して参りました。これからも、脱炭素や資源循環型社会の実現に向け技術革新を図り、国や地域及び国際レベルの社会的課題の解決に取り組むことで、持続的に共栄できる未来の実現に向け、事業を通じてSDGsに貢献して参る所存です。

この度、提供するソリューションの混合溶融技術は、間伐材や竹材などとプラスチックを混合溶融させる技術になります。木材の間伐材や住宅廃材などは従来、資源価値がないものであり、その多くが焼却や放置されてしまっていますが、こうした天然資源とプラスチックの融合を図ることで、石油由来のプラスチック削減による脱炭素が図れるとともに、資源の再活用をするアップサイクルも図れることで資源循環に取り組んでいけると考えております。

また、この技術は木材だけでなく、竹にも利用できる上に、ホタテの貝殻等のフードロスなどとプラスチックの融合が可能です。少しでも地域資源の活用を図ることで、地産地消と資源循環の両輪での取り組みができればと考えています。現在、弊社がございます神奈川県では相模原市様が推進する「さがみはらSDGsパートナー」になるとともに、相模原市の津久井の森林の有効活用を図る為、木工所等からでるおが屑をバイオマスプラスチックにする取組みを開始しています。

## SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

従来が完全なB to B企業の為、地方自治体様やNPO様とも縁がなく、手探りでパートナーになりうる方々を探している状況です。

この度、ローカルSDGsに加盟させていただくことで、より地域資源の活用と循環を図れる創造を多様な団体様と取り組みが図れれば幸いです。